

2025 東北 660 耐久レース ブリーフィング資料

- 1、コースイン開始 3 分前の放送を合図に、コースインゲートまたはピットからピットロードに進入、一列に並んで待機して下さい。ピットロードエンドのグリーンシグナルが点灯したらコースインが可能です。予選時間は 30 分となります。
- 2、1~2 周はウォームアップを兼ね慎重にドライビングして下さい。コースオープンと同時にタイム計測が開始されます。2 回コントロールラインを通過すればタイムが記録されます。それ以前に走行できなくなったチームは計測不可により予選不通過です。決勝に出場する場合は予選の終了後、20 分以内に嘆願書を事務局まで提出して下さい。
- 3、スピンやコースアウトをした場合は慌てずに後方をよく確認してから再スタートして下さい。再スタートができない場合、ドライバーは車外の安全な場所に退避し、予選が終了するまでその場所で待機して下さい。再スタートできた場合のみ残りの予選に参加できます。
- 4、ピットロードは 1 速ホールドです。歩行者などに注意して走行して下さい。
- 5、ポストで提示される旗は厳守です。各自が減速などの義務を守りマナーを持って走行して下さい。緊急車両やオフィシャルが作業中の区間は特に注意して下さい。毎周回ごとにメインポストおよびメインポスト下のボードを確認し、指示に従って下さい。
- 6、赤旗を確認したら直ちに減速し自己のピットに戻って下さい。その後はアナウンスがあるまで車両の近くにいて下さい。給油とドライバー交代を除く作業が許可されます。
- 7、チェッカーを受けたら速やかに減速し、クールダウンしてピットロードに戻って下さい。
- 8、決勝はオフィシャルの指示に従ってピットロードに進入して下さい。コースイン開始の時刻になったら 1 周し、グリッドに整列します。その際ウェービングは禁止されます。グリッドに着いたらエンジンを停止して下さい。3 分前からカウントダウンが始まり、1 分前でエンジンスタート、フラッグタワー上のグリーンシグナル点灯でセーフティーカーの先導によるフォーメーションラップがスタートします。スタート不能の場合は手を挙げるなど合図をして下さい。ウェービングは近くに車両がないか確認し、スピンなどをしないよう注意しながら行なって下さい。フォーメーションラップ中にスピンした場合は元のグリッドに復帰できず、隊列の最後尾からのスタートとなります。
- 9、決勝はローリングスタートです。フォーメーションラップを終えるとセーフティーカーがピットロードに進入しますが、ポールポジションの車両は隊列を整えつつ走行を続けて下さい。先頭車両がコントロールライン付近に達するとフラッグタワーでグリーンフラッグ

が振られレースがスタートします。なおフォーメーションラップ中はスピンした車両などを除き追い越し禁止で、スタート後に追い越しが許可されるのはコントロールラインを通過してからになります。

- 10、何らかの事情でスタートが不可能と判断される場合は、セーフティーカーの先導によるフォーメーションラップが継続される場合があります。
- 11、スタート直後は混戦が予想されますが、接触には十分に注意し回避に努めて下さい。
- 12、各ポストの旗は必ず確認して下さい。2025 年から決勝レース中の黄旗時、赤旗時のルールが改正されました。

～黄旗～

黄旗は全ポスト一斉に提示される。自分の車両が進行方向で一番近いポストを通過した時点で黄旗開始となります。※追越禁止 黄旗解除は全ポスト一斉グリーンフラッグとなる。グリーンフラッグは 4 つあるポストの中で 1 つでもグリーンフラッグを確認出来た時点で黄旗解除となります。※追越可能

～赤旗～

赤旗が最初に提示されるのは最終コーナー手前のポストとなる。レース中に最終コーナー手前のポストで赤旗が出された場合は、ピットに入らず後車を確認しながらゆっくり減速し安全なスピードでホームストレートを下ってきて下さい。先頭車両はそのまま低速で 1、2、3、U コーナーと進み、V コーナー手前で停車となります。V コーナー停車位置にはオフィシャルがいるのでご安心下さい。また、先頭車両以降の車両はなるべく前の車との間隔を詰めて停車して下さい。最終コーナー手前ポストで赤旗が出ているのにも関わらずピットに戻ってきてしまった車両はコース側のピットロードを最徐行で通過し、そのままコースインをして最後尾に並んで下さい。レース再開は V コーナーオフィシャルによるグリーンフラッグの合図となります。追い越し可能となるのは V コーナーオフィシャルのグリーンフラッグを通過後となります。※赤旗前からピット作業をしていた車両は赤旗中も継続して作業可能。但しコースイン出来るのはレース再開後、全車 1 コーナーを通過後となる。

- 13、トラブルで停車するときはできる限り安全な場所を選んで下さい。オフィシャルが危険と判断した場合、車両の移動を行なうのでドライバーは必ず補助して下さい。移動した安全な場所から自力でスタートできる場合はレースに復帰できます。現場を通過する車両はレスキュー活動を妨げないように注意して走行して下さい。
- 14、縁石の使用は認められますが、横転の危険もある為、縁石はなるべく使用せず走行をお願いします。明らかな走路外走行が確認された場合はペナルティの対象となります。

- 15、レース中の違反によるペナルティストップまたはドライビングスルーが決定した場合、コントロールライン前方のフラッグタワーでリンク旗(水色&ピンク)が提示されます。該当車両は次の周にピットロードへ入りペナルティを受けて下さい。誤って自己のピットに停車するとペナルティの消化と認められず、再度コースインしてからピットインし、ペナルティを受け直さなければなりません。ペナルティエリアはタワー前です。通告後3周以内にペナルティを受けない場合は、周回数の減算や失格といったより大きなペナルティが適用されるので、十分に注意して下さい。
- 16、ドライバーチェンジを含むすべてのピット作業において車両はピットに前進駐車すること。作業が終了しピットから車両を出す際はバックギア禁止となります。
- 17、給油は自己ピット前で行ないます。定められた手順は以下のとおりです。①停車してエンジンを停止 ②ドライバーが降りてドアを閉める ③給油スタート（1回につき20ℓまで）④給油完了 ⑤ドライバーが乗り込むまたは交代 ⑥エンジン始動 ⑦レース復帰
- 18、給油作業中はいかなる作業も禁止されます。（ウォータースプレーやブローアールで風を当てる作業も禁止となる）燃料補給の際は必ず消化器を保持したスタッフが随伴して下さい。給油スタッフも耐火性の装備を着用することを強く推奨します。
- 19、給油に伴い3分間のピットストップとなります。時間の消化および手順の遵守は相互監視制となっており、給油作業の数周前に近隣のチームに声をかけ、時間計測およびチェックシートへ署名してもらって下さい。チェックシートはレース後すぐに事務局へ提出し、不備があった場合はペナルティが適用されます。計測はスマートフォンやストップウォッチなどを使用して下さい。監視を依頼するのはできるだけ身内じゃないチームにするよう配慮をお願いします。なおチェックシートの記入はドライバー交代のみのときも必要です。
- 20、ドライバー交代の間もエンジンは停止して下さい。
- 21、レース終了後は全車ピットインすること。入賞車両はレース終了後に再車検があります。ピットイン後はオフィシャルの指示に従って下さい。

《イエローフラッグ、レッドフラッグ、グリーンフラッグ以外の説明》

- ・ オレンジボール・・・車両のトラブル（メインポストオフィシャルからの指差し）
 - ・ リンク旗・・・何らかのペナルティ（メインポストオフィシャルからの指差し）
 - ・ オレンジボール&リンク旗の2本同時・・・オイル漏れ（メインポストオフィシャルからの指差し）
- また、フラッグ関係なくオイル漏れの疑いが生じた場合は直ちに走行ラインから外れて安全な場所に車両を停車すること。